

令和3年度
長門市立深川中学校
学校評価アンケート結果
(後期)

実施時期:令和3年12月

実施対象:生徒 272名

※すべてオンライン回答

:保護者 188名

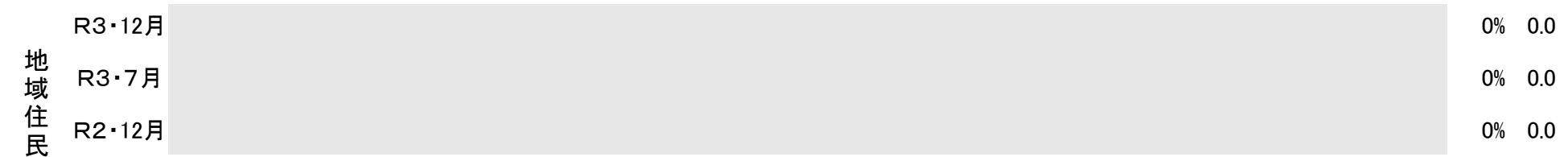
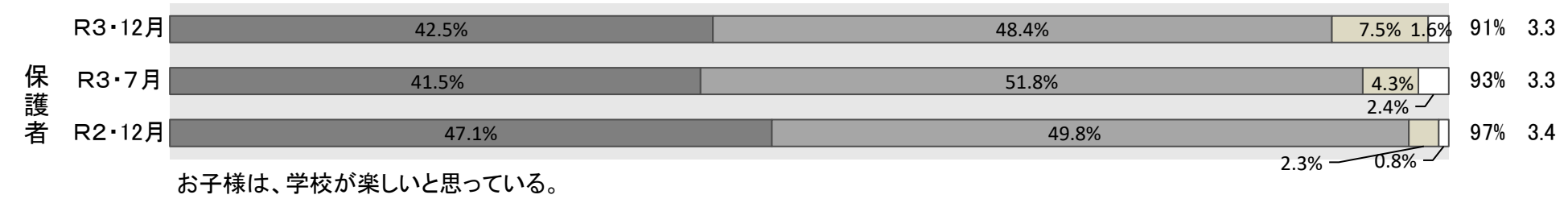
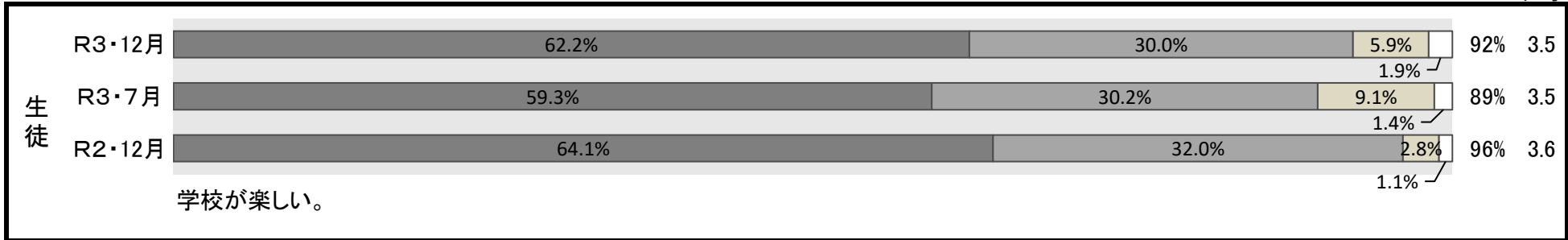
※うち153名がオンライン回答

:地域住民 60名

1	学校が楽しい。	(生徒) 学校が楽しい。 (保護者) お子様は、学校が楽しいと思っている。 (地域住民) 0
---	---------	--

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察	最も重要な質問項目である。肯定的回答をした生徒の割合は92%と高く、前期との比較では3ポイント増加した。一方、10%未満ではあるものの、否定的回答をした生徒がいること、特に「そう思わない」と回答した生徒がいることは課題である。引き続き、学校生活の大半を占める授業の一層の充実を図るとともに、生徒理解に努めたい。また、肯定的回答をした保護者の割合が2ポイント減少していることについて、様々な角度から状況の把握に努める必要がある。
----	---

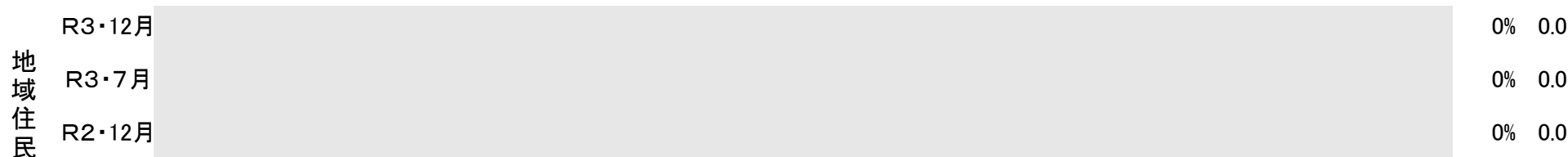
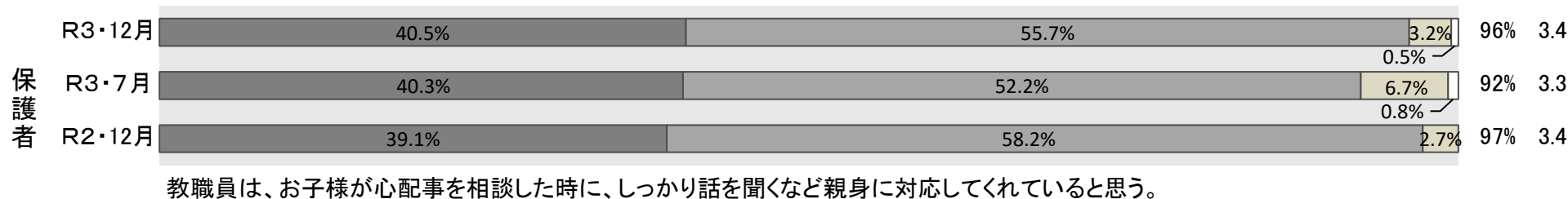
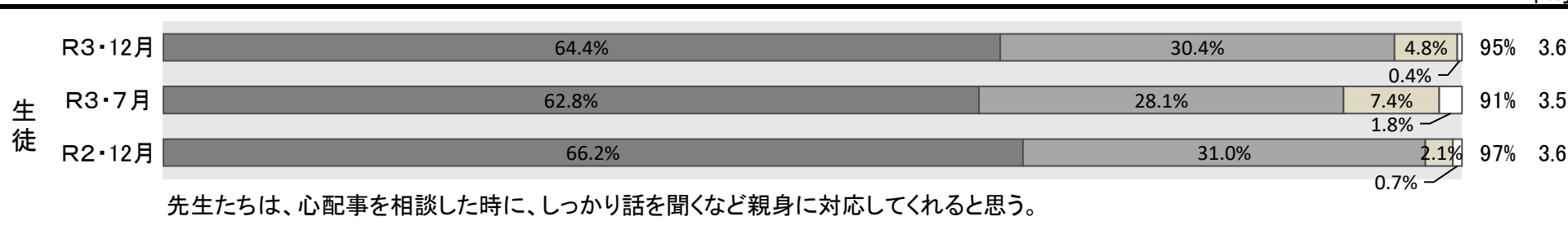
2

先生たちは、心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に対応してくれると思う。

(生徒) 先生たちは、心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に対応してくれると思う。
 (保護者) 教職員は、お子様が心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に対応してくれていると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

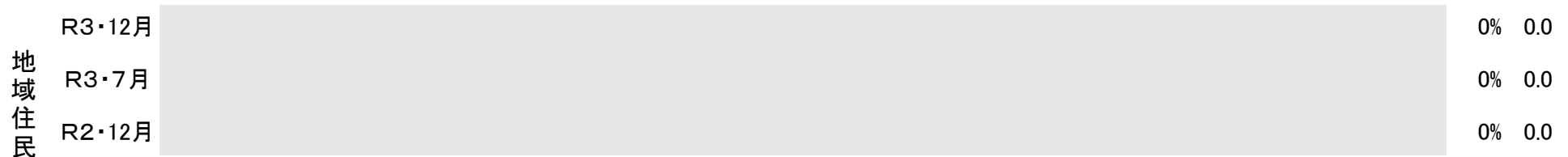
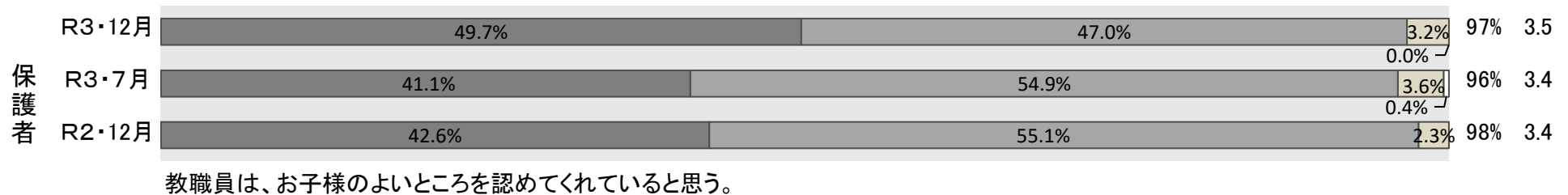
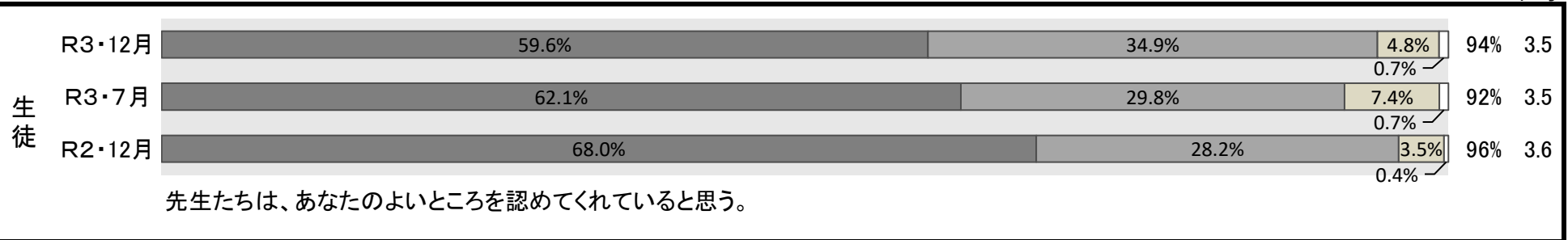
肯定的回答をした生徒の割合は95%と高く、前期との比較では生徒・保護者ともに4ポイント増加した。一方、1%未満ではあるが、「そう思わない」と感じている生徒もいることを真摯に受け止め、引き続き、傾聴と共感の姿勢を大切にしていきたい。

3 先生たちは、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

(生徒) 先生たちは、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
 (保護者) 教職員は、お子様のよいところを認めてくれていると思う。
 (地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

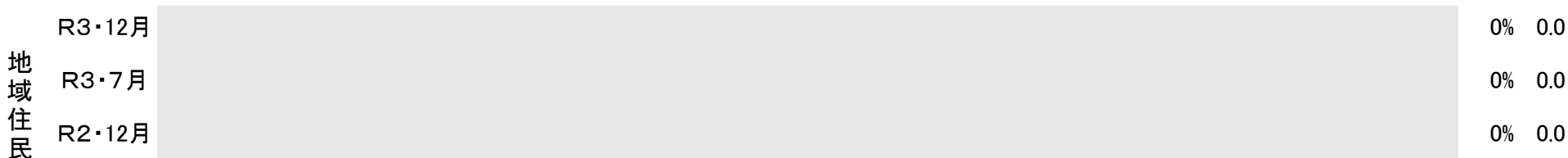
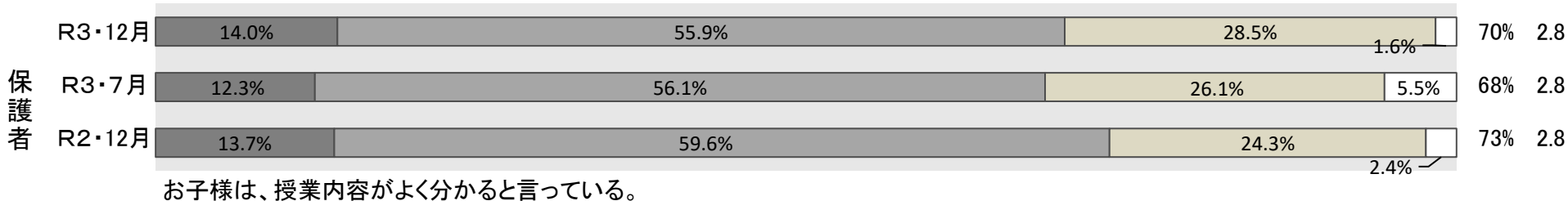
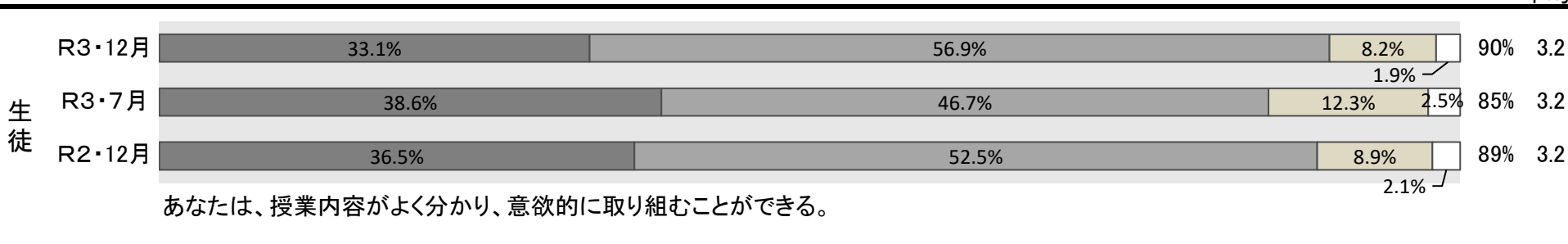
考察 肯定的回答をした生徒の割合は94%と高く、前期との比較では生徒・保護者ともにポイントが増加した。日頃から、「生徒一人ひとりの良いところをみていこう」という姿勢を大切にしている成果と考える。一方、昨年度との比較で肯定的回答をした生徒の割合が減少していること、「そう思わない」と回答した生徒がいることを真摯に受け止め、一層、こういった姿勢を大切にしていける必要がある。

4 あなたは、授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。

(生徒) あなたは、授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。
 (保護者) お子様は、授業内容がよく分かると言っている。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



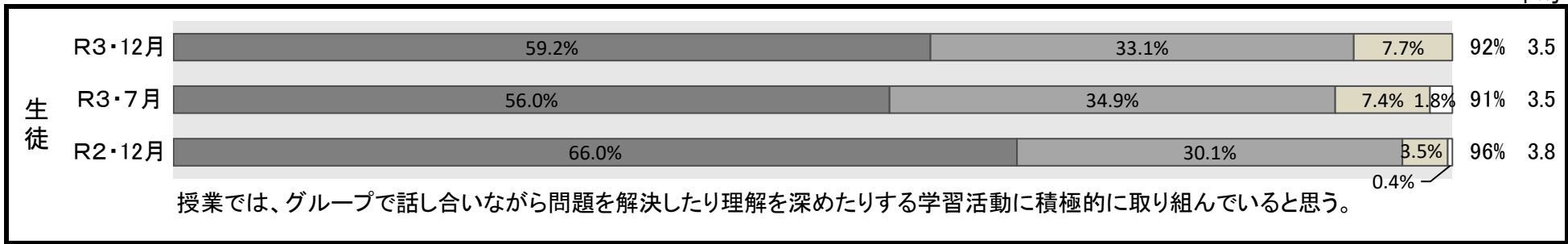
前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした生徒の割合は90%と高く、前期との比較では生徒は5ポイント・保護者は2ポイント増加した。学びの実感を得られる授業の創造をめざし、全校体制で授業改善に取り組んできた成果と捉えている。また、2学期からタブレット端末を活用した授業が本格的にスタートしたこともポイント増加の要因の一つであると考え。今後もグループ学習の充実に加え、タブレット端末の活用についても研修を重ね、授業改善を図っていきたい。

5	<p>授業では、グループで話し合いながら問題を解決したり理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。</p>	<p>(生徒) 授業では、グループで話し合いながら問題を解決したり理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。 (保護者) 0 (地域住民) 0</p>
---	---	---

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



保護者	R3・12月	0%	0.0
	R3・7月	0%	0.0
	R2・12月	0%	0.0

地域住民	R3・12月	0%	0.0
	R3・7月	0%	0.0
	R2・12月	0%	0.0

前期7月 後期12月

考察	<p>肯定的回答をした生徒の割合は92%と高く、前期との比較では1ポイント増加した。グループ学習については、より多くの学びの実感を得ることができる学習形態であると生徒自身が認識しており、その充実に向けて継続的に取り組んできた成果だと捉えられる。引き続き、感染症対策を講じつつ、グループ学習に取り組んでいくとともに、ICTを活用した新たな形での協働学習に取り組んでいく。</p>
----	--

6

授業では、相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができていると思う。

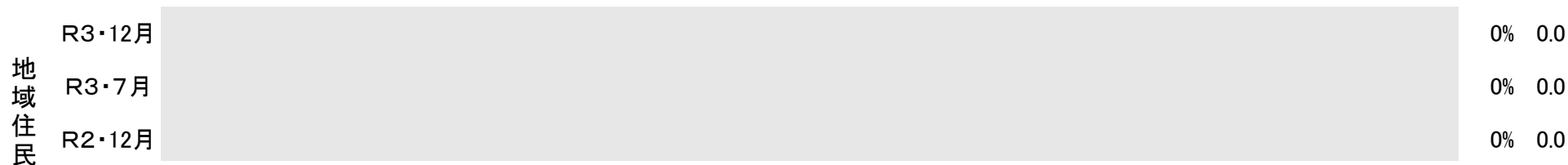
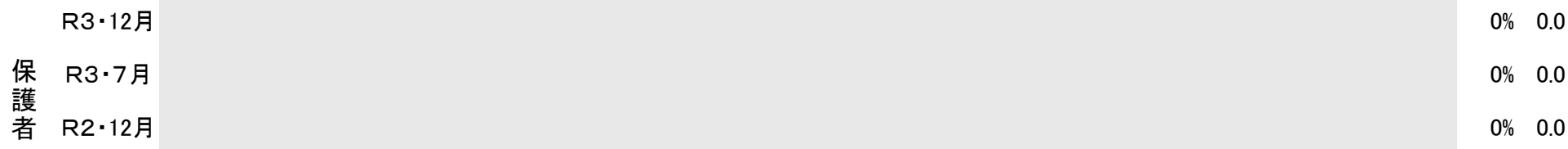
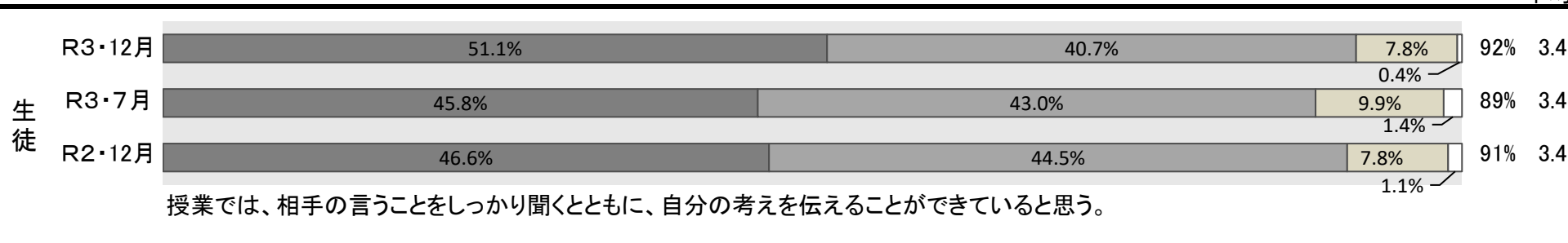
(生徒) 授業では、相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができていると思う。

(保護者) 0

(地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は92%以上と高く、前期との比較では3ポイント増加した。今年度、根拠を基にして説明する機会を増やすよう授業改善を進めてきた成果であると考え。引き続き、感染症対策を講じつつ、グループ学習に取り組んでいくとともに、ICTを活用した新たな形での協働学習に取り組んでいきたい。

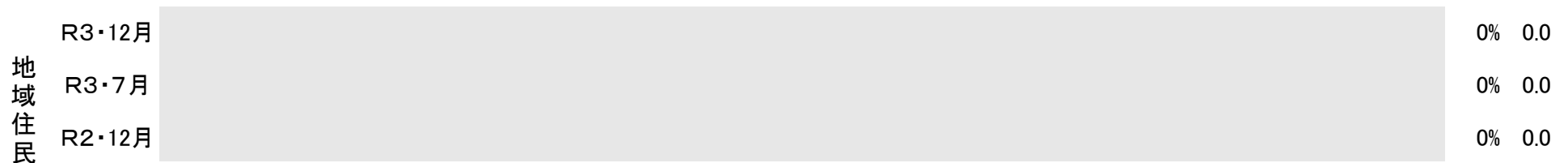
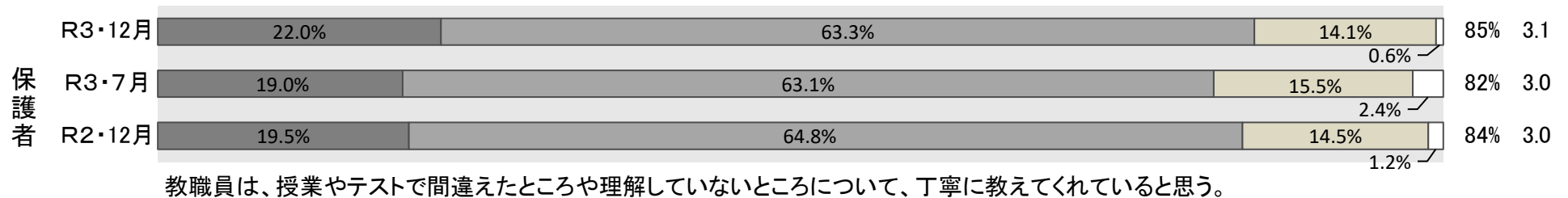
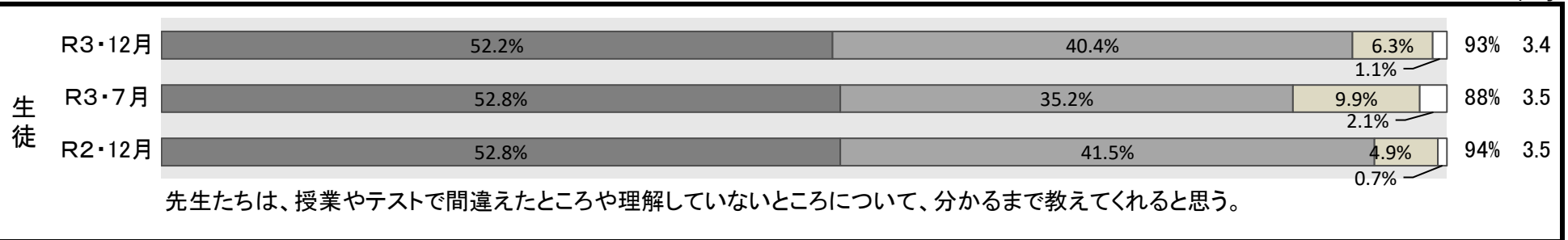
7

先生たちは、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。

(生徒) 先生たちは、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。
 (保護者) 教職員は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、丁寧に教えてくれていると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

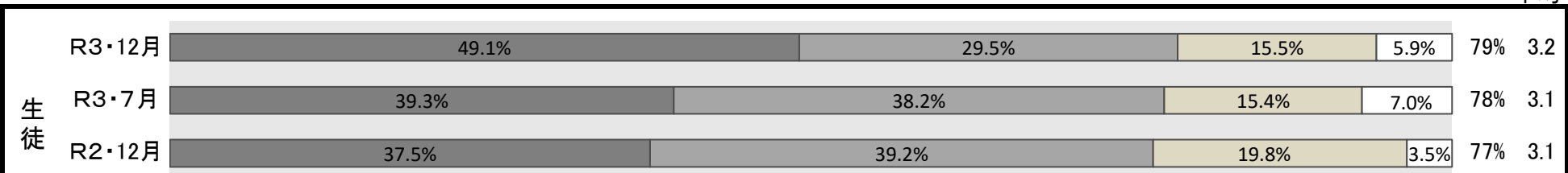
肯定的回答をした生徒の割合は93%以上と高く、前期との比較では生徒は5ポイント・保護者は3ポイント増加した。授業はもちろんのこと、本校が独自に実施している補充学習「キラッと学習講座」の時間の充実を図るとともに、引き続き、生徒の「わかりたい」という気持ちに寄り添ってまいりたい。

8-1 この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

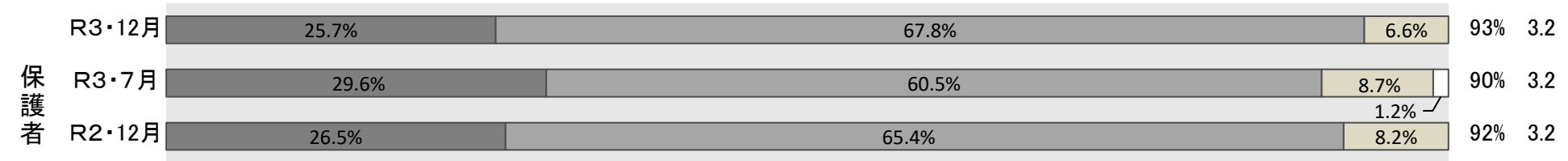
(生徒) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (保護者) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでいると思う。
 (地域住民) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

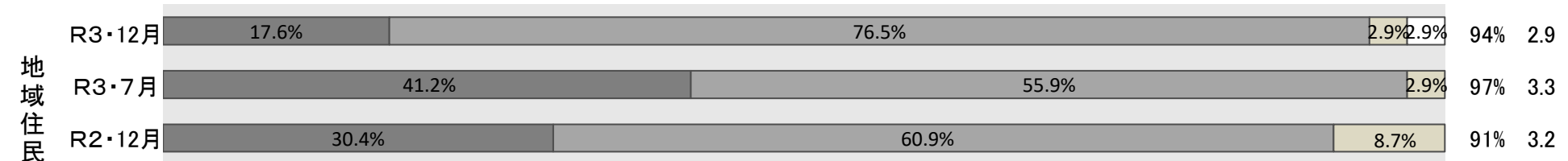
肯定的回答 平均



この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。



この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでいると思う。



この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

※8-2との違いは、保護者の質問項目(いじめゼロに向けた取組)

前期7月 後期12月

考察 経年比較では、肯定的回答をした生徒の割合は増加傾向にある。また、肯定的回答をした保護者の割合についても、前期との比較では3ポイント増加した。一方、他の質問項目と比較すると、肯定的回答率が79%と低くとどまっている。引き続き、開発的な生徒指導を推進するとともに、生徒自身に課題意識をもたせるために、生徒会活動で取り上げることにより、改善をめざしたい。また、地域住民の肯定的回答が減少していることに留意し、積極的な情報収集に努めたい。

8-2

この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

(生徒) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (保護者) この学校は、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減っていると思う。
 (地域住民) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均

生徒	時期	4	3	2	1	肯定的回答	平均
生徒	R3・12月	49.1%	29.5%	15.5%	5.9%	79%	3.2
	R3・7月	39.3%	38.2%	15.4%	7.0%	78%	3.1
	R2・12月	37.5%	39.2%	19.8%	3.5%	77%	3.1

この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

保護者	時期	4	3	2	1	肯定的回答	平均
保護者	R3・12月	14.5%	65.1%	19.2%	1.2%	80%	2.9
	R3・7月	13.5%	60.6%	22.7%	3.2%	74%	2.8
	R2・12月	12.6%	62.5%	20.9%	4.0%	75%	2.8

この学校は、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減っていると思う。

地域住民	時期	4	3	2	1	肯定的回答	平均
地域住民	R3・12月	17.6%	76.5%	2.9%	2.9%	94%	2.9
	R3・7月	41.2%	55.9%	2.9%		97%	3.3
	R2・12月	30.4%	60.9%	8.7%		91%	3.2

この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

※8-1との違いは、保護者の質問項目(いじめやNGワードの減少)

前期7月 後期12月

考察 8-1との違いは、保護者の質問項目の違いにある。肯定的回答をした保護者の割合は、前期との比較で6ポイント増加した。一方、8-1との比較から、いじめに対する学校全体の取組に対し肯定的回答をした保護者の割合は93%と高いが、8-2の実際にいじめや「NGワード」が以前より減っているかという質問項目に対しては80%と低くとどまっていることが課題である。

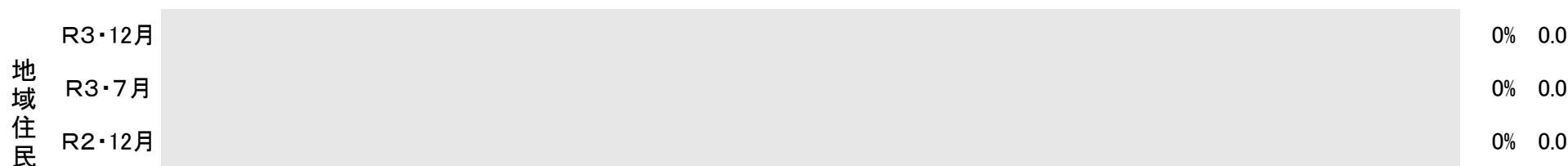
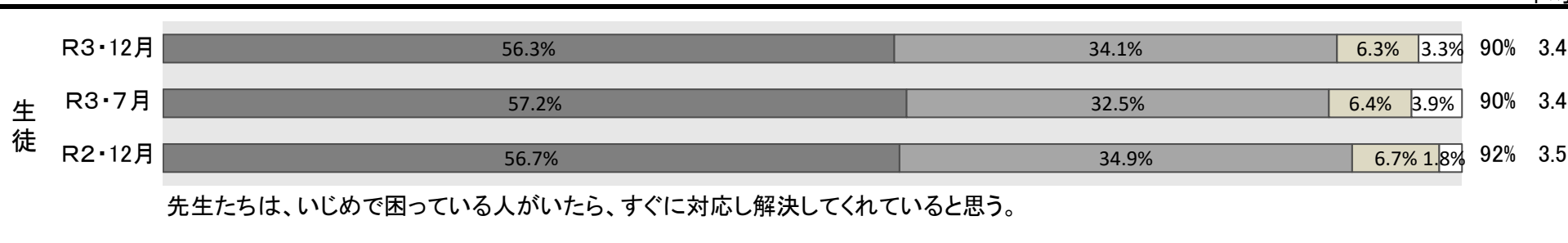
9

先生たちは、いじめで困っている人がいたら、すぐに対応し解決してくれていると思う。

(生徒) 先生たちは、いじめで困っている人がいたら、すぐに対応し解決してくれていると思う。
(保護者) 教職員は、困っている生徒がいたら、すぐに対応していると思う。
(地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は90%と高く、前期との比較では生徒は1ポイント未満、保護者は2ポイント増加した。一方、「そう思わない」と感じている生徒が一人でもいることを真摯に受け止め、引き続き、日々の生活ノートの記入内容や毎週的生活アンケート、日々の見守り活動や教育相談等から生徒理解に努め、いじめの早期発見に繋げるとともに、その解決に向け、学校・家庭がしっかりと連携し、生徒・保護者の心情に寄り添った対応をしていきたい。

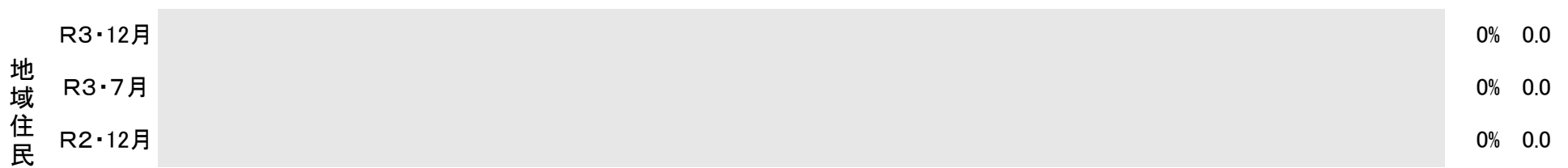
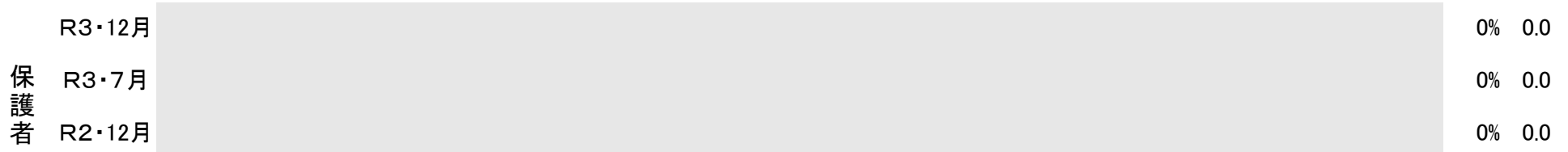
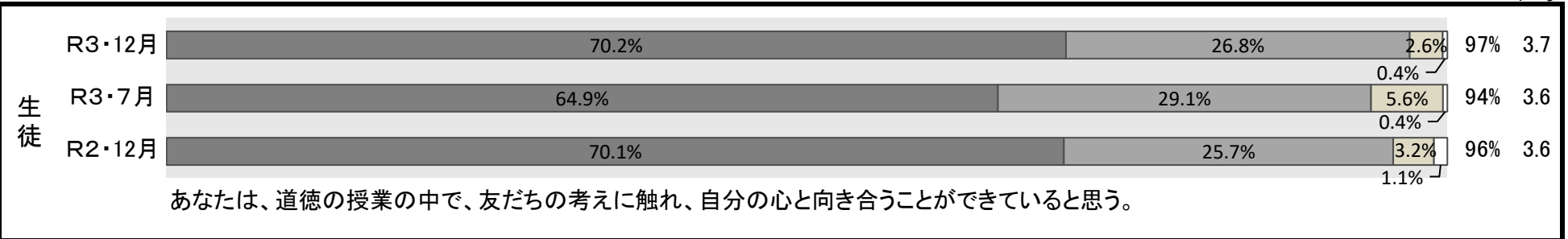
10

あなたは、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と向き合うことができていると思う。

(生徒) あなたは、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と向き合うことができていると思う。
 (保護者) 0
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

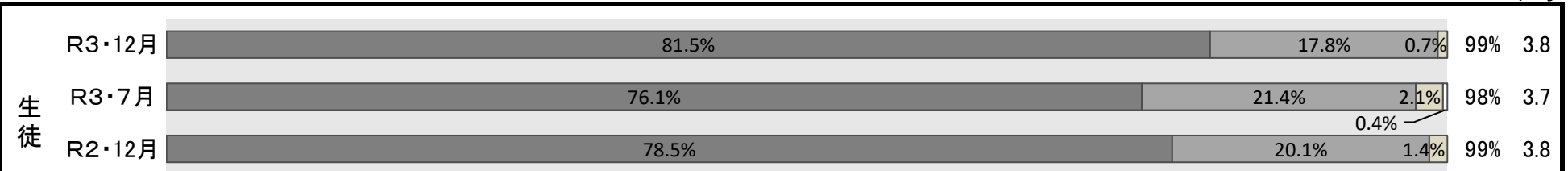
考察 肯定的回答をした生徒の割合は97%と高く、前期との比較では3ポイント増加した。引き続き、道徳教育の充実には欠かせない「納得解」を求めるための議論を、感染症対策を講じながら進めていきたい。

11 あなたは、友だちを大切にしている。

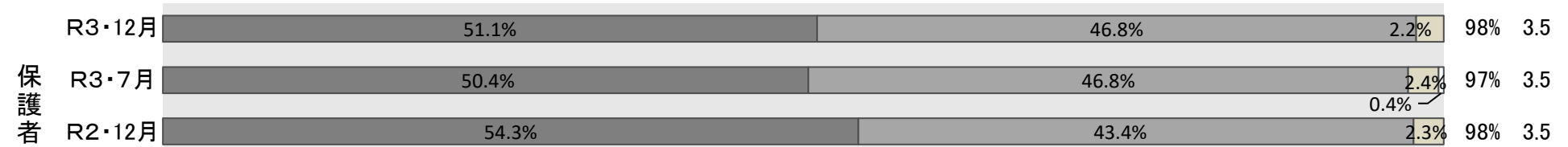
(生徒) あなたは、友だちを大切にしている。
 (保護者) お子様は、友だちを大切にしていると思う。
 (地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

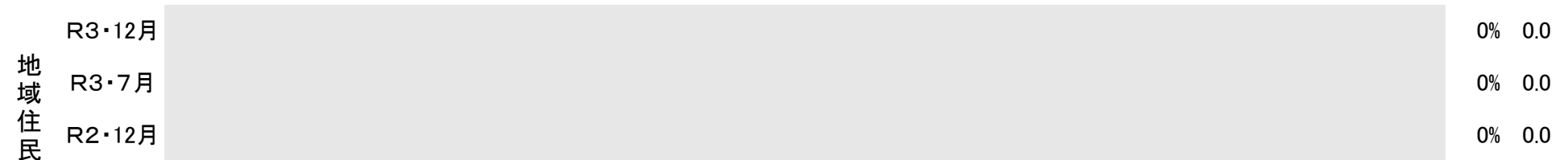
肯定的回答 平均



あなたは、友だちを大切にしている。



お子様は、友だちを大切にしていると思う。



前期7月 後期12月

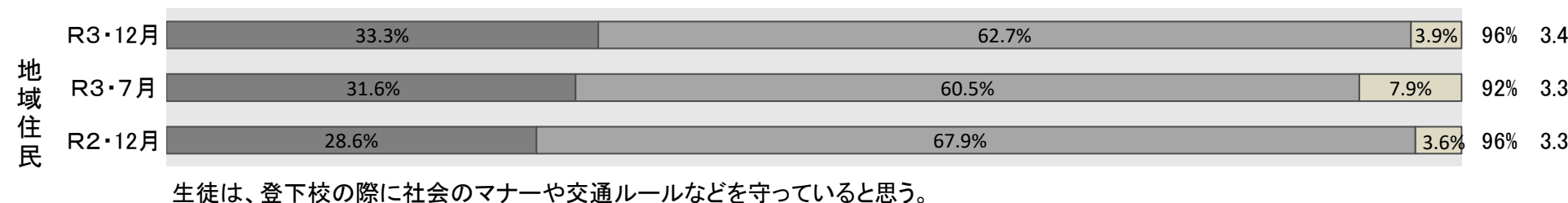
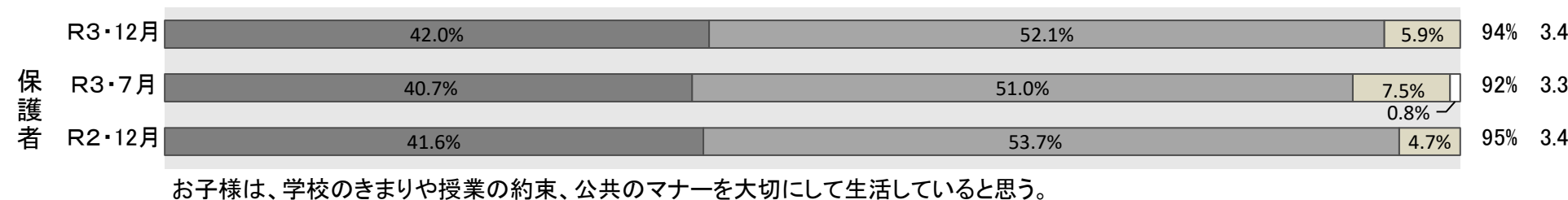
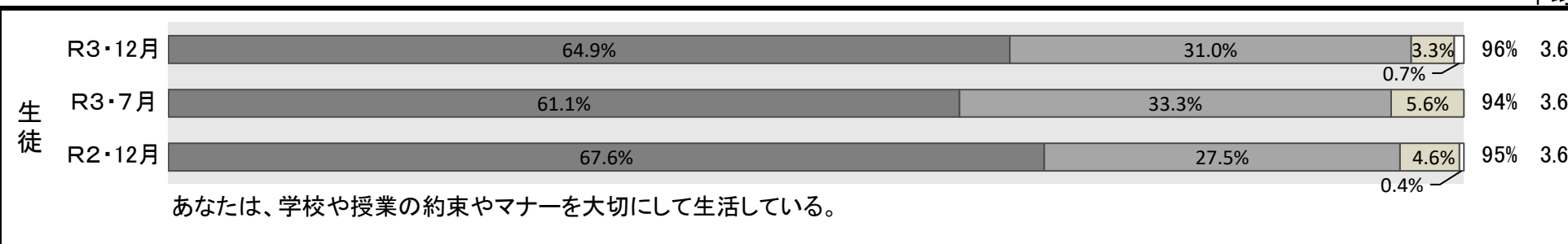
考察 例年と同様に、生徒の肯定的割合は99%と高い。前期や昨年度後期との比較でも大きな増減はない。全ての質問項目の中で最も高いポイントであることから、友達との関係づくりは、大人がとらえる以上に、生徒にとって今をよりよく生きる上で重要度が高いことが伺える。

12 あなたは、学校や授業の約束やマナーを大切に生活している。

(生徒) あなたは、学校や授業の約束やマナーを大切に生活している。
 (保護者) お子様は、学校のきまりや授業の約束、公共のマナーを大切に生活していると思う。
 (地域住民) 生徒は、登下校の際に社会のマナーや交通ルールなどを守っていると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

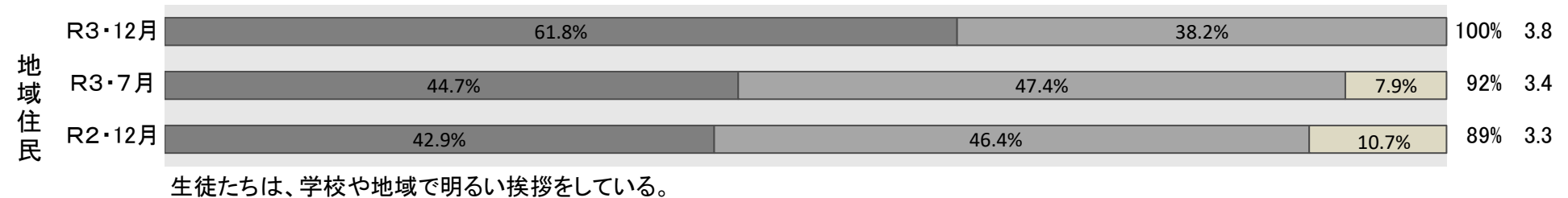
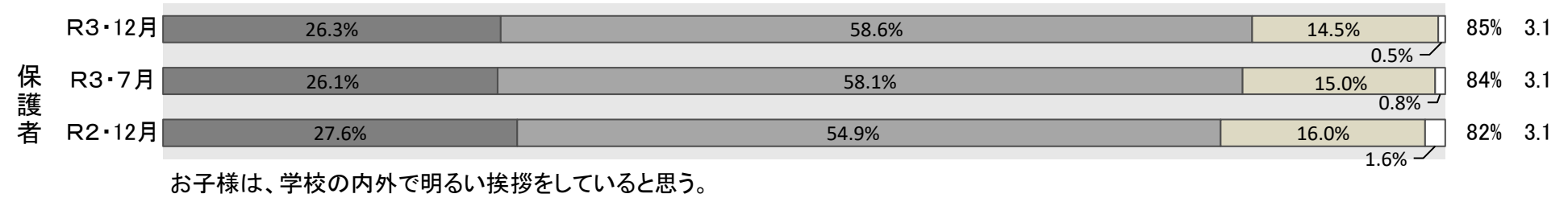
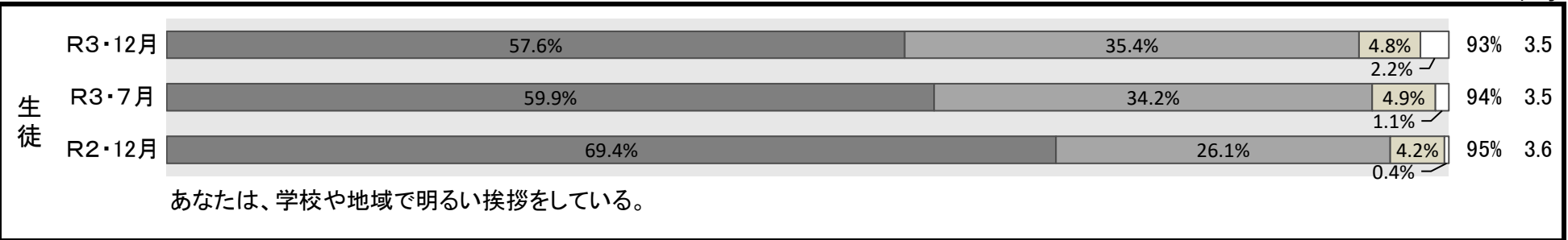
考察 肯定的回答をした生徒の割合は96%と高く、前期との比較では生徒・保護者ともに2ポイント増加した。引き続き、教員の授業改善と生徒の学習改善に注力し、学びの実感が得られる授業づくりに取り組みたい。また、肯定的回答をした地域住民の割合は増加しているものの、下校中の交通マナーの改善が十分でないため、地域住民からご意見をいただくこともあり、今後も引き続き、指導していきたい。

13 あなたは、学校や地域で明るい挨拶をしている。

(生徒) あなたは、学校や地域で明るい挨拶をしている。
 (保護者) お子様は、学校の内外で明るい挨拶をしていると思う。
 (地域住民) 生徒たちは、学校や地域で明るい挨拶をしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした生徒の割合は93%と高いものの、前期との比較では1ポイント減少した。一方、保護者や地域住民については、肯定的回答は増加傾向にあり、本校生徒の挨拶に対する意識の高まりを感じる。挨拶は、保護者や地域住民にとって、最も生徒の様子がわかるものであるとともに、明るい地域づくりに貢献でき、「地域でめざす子ども像」にも挙げられていることから、引き続き、学校全体で力を入れて取り組んでいきたい。

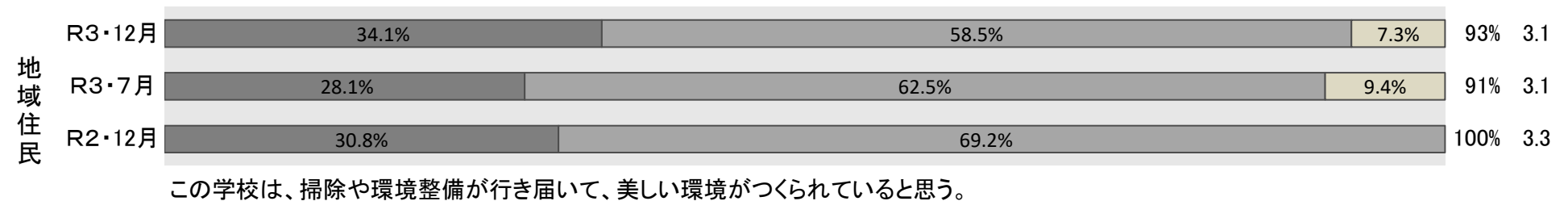
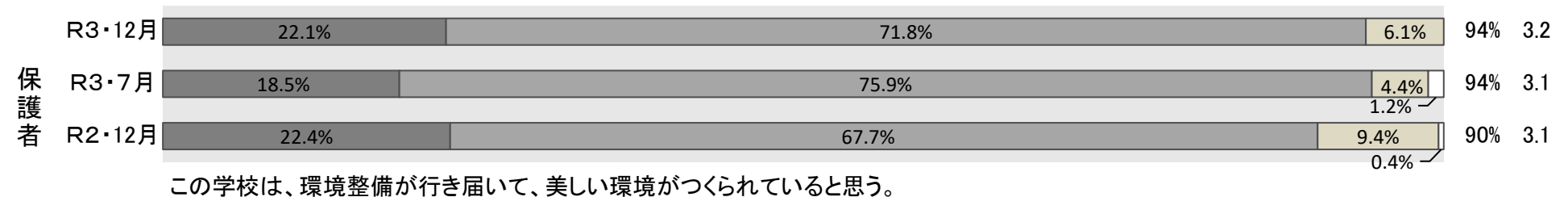
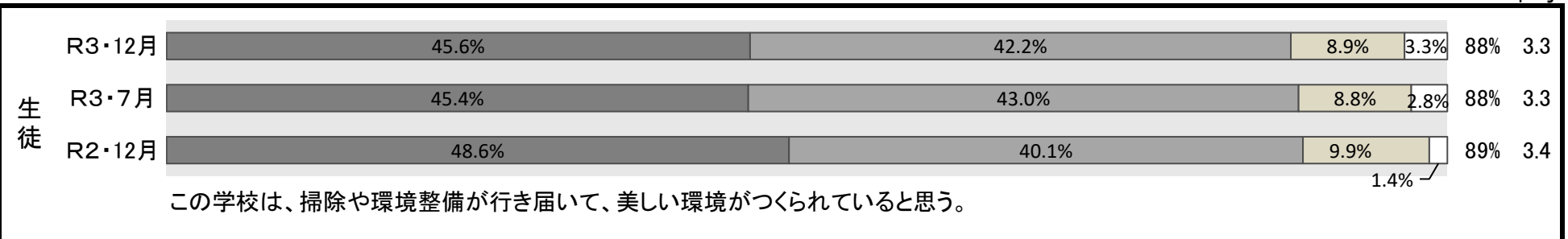
14

この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。

(生徒) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。
 (保護者) この学校は、環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。
 (地域住民) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は88%と9割近かった。経年比較では肯定的回答をした保護者の割合は増加傾向にあるとともに、肯定的回答をした地域住民の割合も2ポイント増加した。夏休みに、地域住民や保護者の方の協力で環境整備を行うなど、校舎自体は古いですが、掃除や環境整備が行き届いている成果であろう。

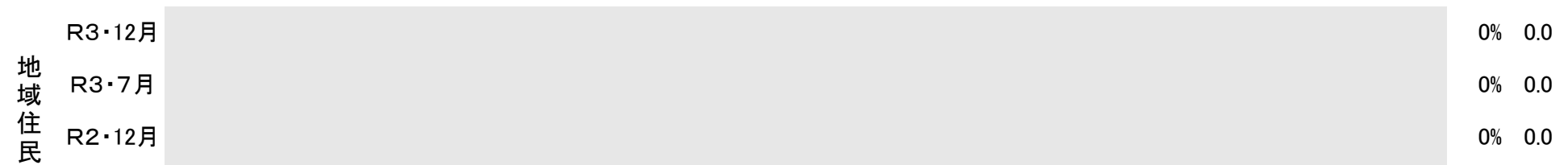
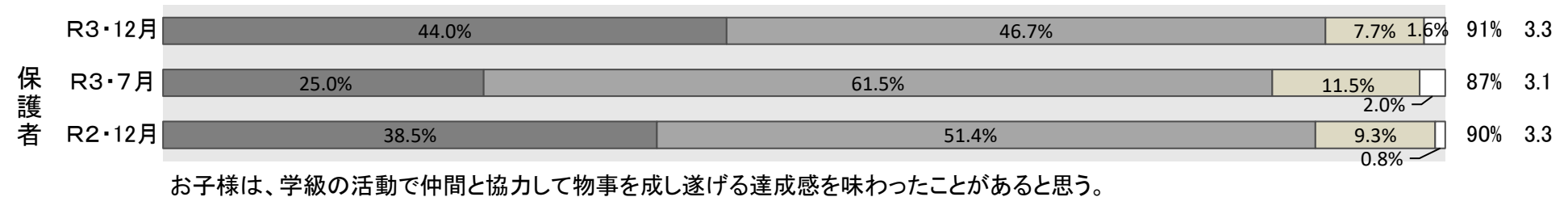
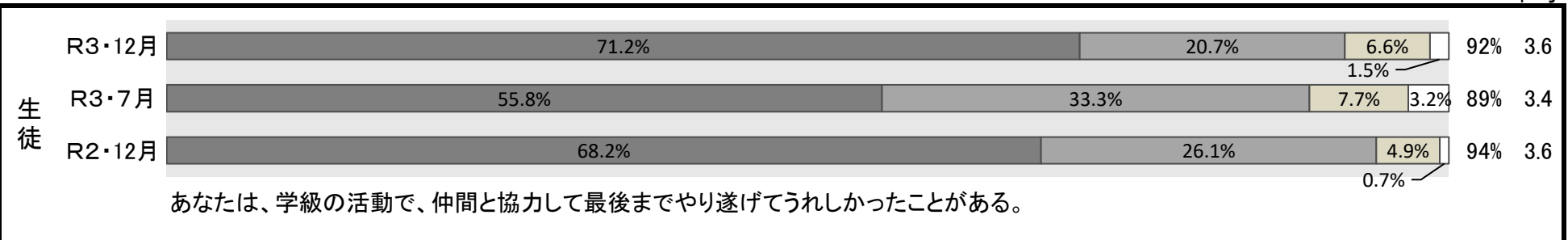
15

あなたは、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがある。

(生徒) あなたは、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがある。
 (保護者) お子様は、学級の活動で仲間と協力して物事を成し遂げる達成感を味わったことがあると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は92%と高く、前期との比較では生徒は3ポイント、保護者は4ポイント増加した。コロナ禍で、生徒会活動が制限される中、2学期は、大きな達成感を得ることができる体育大会や文化祭などの学校行事が感染症対策を講じながらも実施できたことが増加の大きな要因であると考えられる。

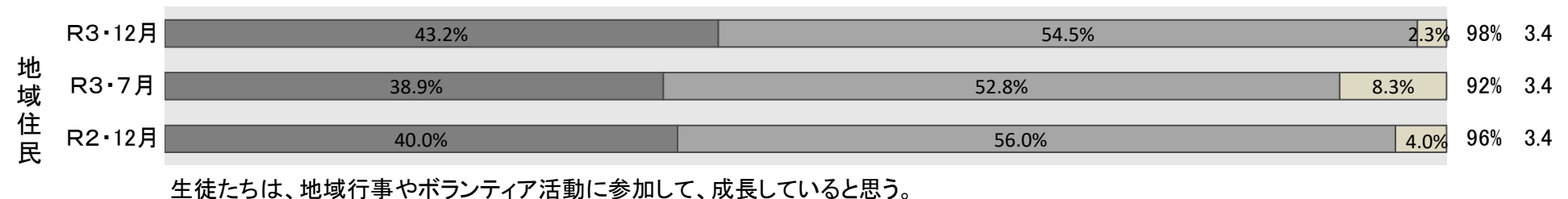
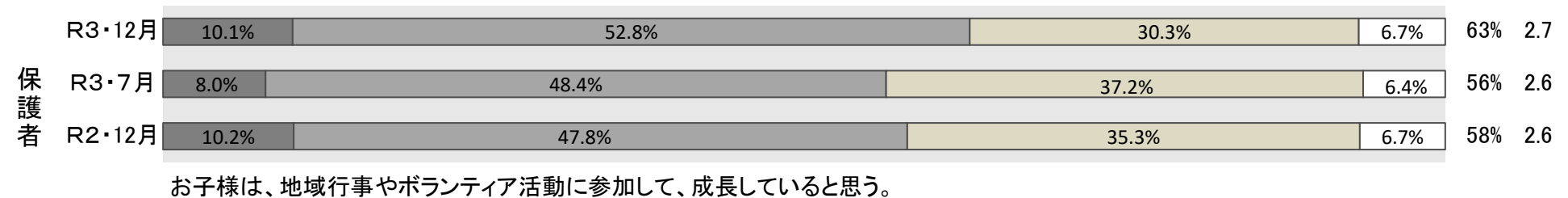
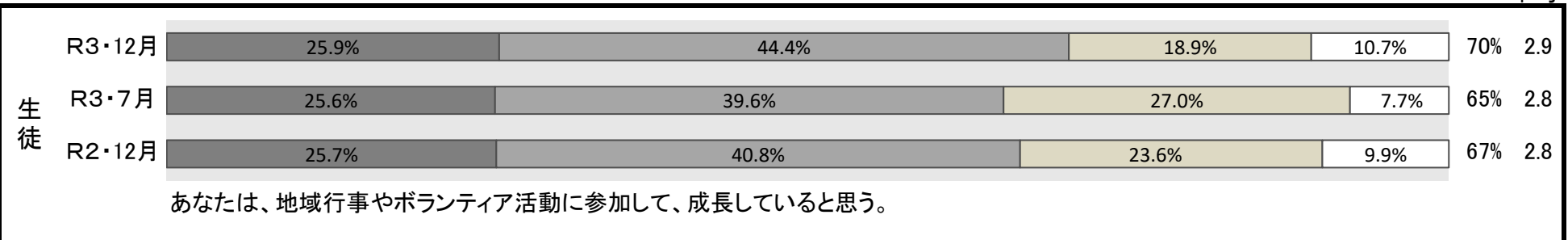
16

あなたは、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。

(生徒) あなたは、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。
 (保護者) お子様は、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。
 (地域住民) 生徒たちは、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は70%と他の項目と比較すると低いが、生徒・保護者・地域住民ともに、肯定的回答の割合は増加傾向にあった。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生徒が地域に出て地域住民と交流したり、貢献したりするといった活動に制限はあるものの、コロナ禍における新たな形での地域交流・地域貢献について模索していきたい。

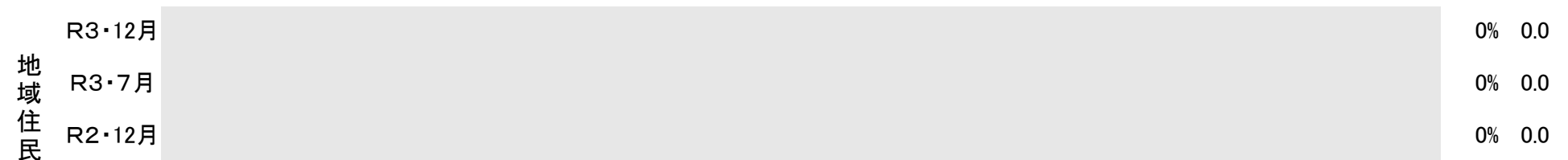
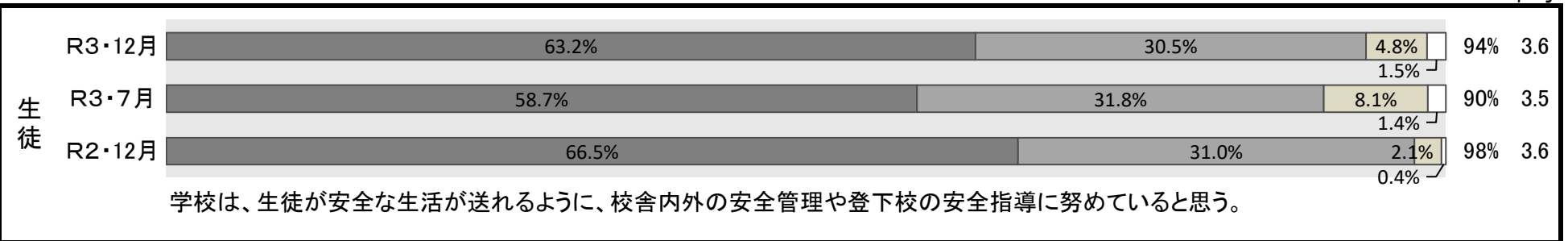
17

学校は、生徒が安全な生活が送れるように、校舎内外の安全管理や登下校の安全指導に努めていると思う。

(生徒) 学校は、生徒が安全な生活が送れるように、校舎内外の安全管理や登下校の安全指導に努めていると思う。
 (保護者) 学校は、生徒が安全な生活が送れるように校舎内外の安全管理や登下校の安全指導に努めていると思う。
 (地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は94%以上と高く、前期との比較では生徒は4ポイント、保護者は2ポイント増加した。朝の出迎えや帰りの見送りを始め、地域からいただいた御意見にもスピード感をもって対応している成果であろう。新型コロナウイルス感染症防止対策について、形骸化することなく、引き続き、気を引き締めて実施するとともに、交通安全・校舎の老朽化に対する安全管理に積極的に取り組んでいく。

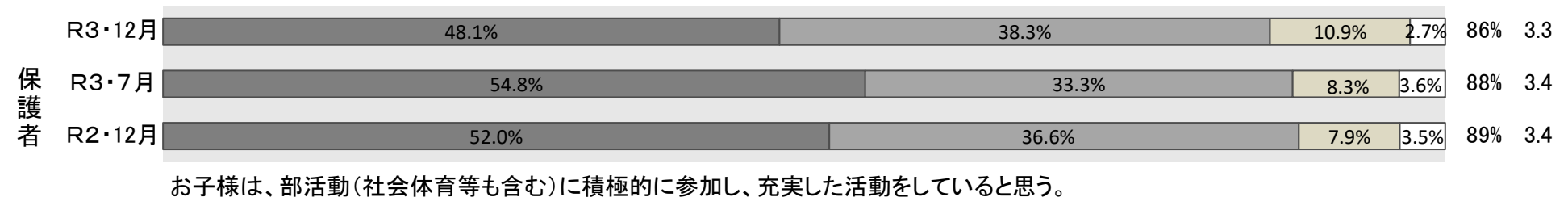
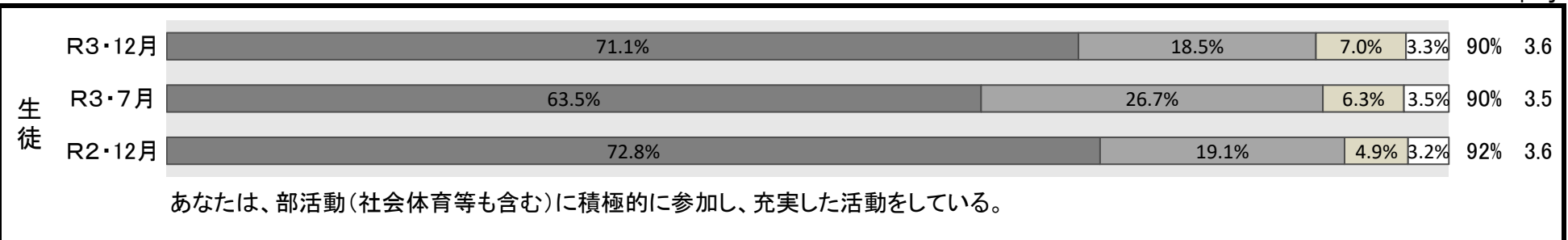
18

あなたは、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしている。

(生徒) あなたは、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしている。
 (保護者) お子様は、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしていると思う。
 (地域住民) 生徒は、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしていると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は90%と高い。一方、経年比較すると、肯定的回答をした生徒・保護者・地域住民の割合はともに減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症防止対策による大会やコンクールの中止や縮小、練習試合などの活動の制限が大きく影響しているものと思われる。生徒については、本年度は、大会結果としては、県大会はもとより、全国大会・中国大会に出場した生徒も多くいることから、「もっと活動したい」という気持ちが表出したものであると考える。

19	学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、学年・学校通信、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしていると思う。	(生徒) 0
		(保護者) 学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、学年・学校通信、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしていると思う。
		(地域住民) 学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしている。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均

生徒	R3・12月		0%	0.0
	R3・7月		0%	0.0
	R2・12月		0%	0.0

保護者	R3・12月	39.7%	56.0%	3.3%	96%	3.3
	R3・7月	26.1%	63.2%	9.9%	89%	3.1
	R2・12月	26.5%	61.5%	10.9%	88%	3.1

学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、学年・学校通信、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしていると思う。

地域住民	R3・12月	42.2%	48.9%	6.7%	91%	3.2
	R3・7月	42.1%	55.3%	2.6%	97%	3.4
	R2・12月	46.2%	53.8%		100%	3.5

学校は、授業参観や学校の行事の公開、学校だより、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしている。

前期7月 後期12月

考察	肯定的回答をした保護者の割合は96%以上と高く、前期との比較では7ポイント増加した。新型コロナウイルス感染症防止対策のために、授業参観や学校行事、PTA行事を中止・縮小する中、このような評価となったことは、今年度、リニューアルしたホームページをはじめ、学校だよりや学年・学級通信で積極的に情報発信している成果と捉えている。
----	---

20 教職員は、PTAや地域行事に理解があり、協力的である。

(生徒) 0

(保護者) 教職員は、PTAや地域行事に理解があり、協力的である。
 (地域住民) 教職員や生徒は地域行事に理解があり、協力的である。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均

生徒	R3・12月		0%	0.0
	R3・7月		0%	0.0
	R2・12月		0%	0.0

保護者	R3・12月	38.6%	56.3%	5.1%	95%	3.3
	R3・7月	33.1%	63.7%	3.2%	97%	3.3
	R2・12月	32.7%	62.6%	4.3%	95%	3.3

教職員は、PTAや地域行事に理解があり、協力的である。

地域住民	R3・12月	51.2%	46.5%	2.3%	98%	3.4
	R3・7月	52.6%	47.4%		100%	3.5
	R2・12月	66.7%	33.3%		100%	3.7

教職員や生徒は地域行事に理解があり、協力的である。

前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした保護者の割合は95%と高い。新型コロナウイルス感染症防止対策により、PTA行事や地域行事が中止・縮小される中、このような評価となったことは、日頃から交わす挨拶をはじめ、朝の挨拶運動や地域応援メッセージボードなど、地道な活動の成果だと捉えている。

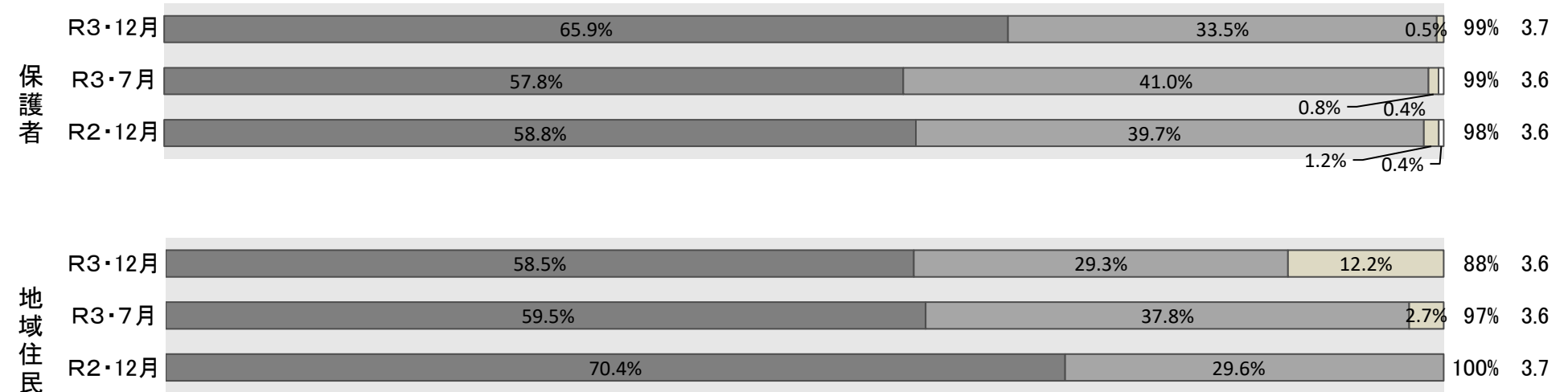
21 教職員は、来校者や電話等、親切で丁寧な対応をしていると思う。

(生徒) 0

(保護者) 教職員は、来校者や電話等、親切で丁寧な対応をしていると思う。
 (地域住民) 教職員は、来校者や電話等、親切で丁寧な対応をしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



教職員は、来校者や電話等、親切で丁寧な対応をしている。

前期7月 後期12月

考察 昨年度に引き続き、99%以上の保護者が肯定的回答をしており、本校教職員が日頃から心掛けていることが数値に表れていると考えている。一方、否定的回答が1名でもいることを真摯に受け止め、100%の肯定的回答及び「そう思う」と回答した割合の増加をめざし、引き続き取り組みたい。また、母数が少なくデータが不安定であるものの、地域住民の肯定的回答の割合が減少したことについても真摯に受け止めたい。

22

学校の人権教育や性教育、進路学習、特別活動(体育大会等を含む)などの取組は充実していると思う。

(生徒) 0

(保護者) 学校の人権教育や性教育、進路学習、特別活動(体育大会等を含む)などの取組は充実していると思う。

(地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均

生徒	R3・12月		0%	0.0
	R3・7月		0%	0.0
	R2・12月		0%	0.0

保護者	R3・12月	20.0%	73.9%	5.6%	94%	3.1
	R3・7月	16.7%	68.7%	13.1%	85%	3.0
	R2・12月	21.3%	70.9%	7.9%	92%	3.1

学校の人権教育や性教育、進路学習、特別活動(体育大会等を含む)などの取組は充実していると思う。

地域住民	R3・12月		0%	0.0
	R3・7月		0%	0.0
	R2・12月		0%	0.0

前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした保護者の割合は94%と高く、前期との比較では9ポイント増加した。今年度は、体育大会・文化祭も感染症対策を講じながら、昨年度と比較すると従来の取組に近い形で実施できたことが、ポイントの増加につながったと考える。引き続き、感染症対策を講じながら、取組を充実させていきたい。

23 お子様は、家庭学習にしっかりと取り組んでいると思う。

(生徒) 0

(保護者) お子様は、家庭学習にしっかりと取り組んでいると思う。

(地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均

生徒	R3・12月					0%	0.0
	R3・7月					0%	0.0
	R2・12月					0%	0.0

保護者	R3・12月	20.7%	42.6%	32.4%	4.3%	63%	2.8
	R3・7月	17.0%	45.5%	29.2%	8.3%	62%	2.7
	R2・12月	17.1%	41.6%	30.4%	10.9%	59%	2.6

お子様は、家庭学習にしっかりと取り組んでいると思う。

地域住民	R3・12月					0%	0.0
	R3・7月					0%	0.0
	R2・12月					0%	0.0

前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした保護者の割合は他の項目と比べ63%と低いものの、年々増加傾向にある。コロナ禍により、臨時休校など予測困難であった昨年度とは違い、この状況にも慣れてきて、家庭学習のペースがつかめてきたのが要因ではないかと考える。一方、否定的回答につながっている生徒の実態に向き合い、今後も家庭と連携しながら家庭での学習習慣が身に付くよう、学校としてできる働きかけについて検討したい。

24

お子様は、落ち着いた雰囲気の中で授業が受けられると言っている。

(生徒) 0

(保護者) お子様は、落ち着いた雰囲気の中で授業が受けられると言っている。

(地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均

生徒	R3・12月		0%	0.0
	R3・7月		0%	0.0
	R2・12月		0%	0.0

保護者	R3・12月	18.2%	62.4%	17.1%	2.2%	81%	3.0
	R3・7月	14.3%	64.7%	16.7%	4.4%	79%	2.9
	R2・12月	14.1%	67.5%	14.5%	3.9%	82%	2.9

お子様は、落ち着いた雰囲気の中で授業が受けられると言っている。

地域住民	R3・12月		0%	0.0
	R3・7月		0%	0.0
	R2・12月		0%	0.0

前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした生徒の割合は81%以上と高く、前期との比較では2ポイント増加した。生徒指導面での落ち着きが、学習面における授業での落ち着きにつながっている。一方、2割近くの否定的回答についても、真摯に受け止めるとともに、対策を講じることが急務である。引き続き、100%の肯定的回答をめざし、校訓「勸学」のもと、生徒一人ひとりの「わかる」「できる」を大切に授業づくりに努めていきたい。